



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 古谷岳夫 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	82,775	18.3	9,715	37.7	10,807	87.3	7,005	81.4
29年3月期第1四半期	69,998	△7.8	7,054	△10.1	5,771	△32.4	3,861	△31.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 7,694百万円(ー%) 29年3月期第1四半期 △6,878百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	31.56	31.51
29年3月期第1四半期	17.40	17.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	407,020	252,134	60.8
29年3月期	411,415	244,634	58.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 247,425百万円 29年3月期 240,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	8.00	ー	8.00	16.00
30年3月期	ー				
30年3月期(予想)		8.00	ー	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,000	△0.1	13,000	△1.6	13,000	7.4	8,000	△0.9	36.04
通期	290,000	0.8	29,000	△5.7	30,000	△5.7	20,000	△13.6	90.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	237,075,556株	29年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	15,093,201株	29年3月期	15,093,031株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	221,982,435株	29年3月期1Q	221,895,594株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は平成29年7月31日(月)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間を振り返りますと、国内経済は緩やかな回復基調が持続しているものの、減速傾向の続く中国経済や欧州経済の先行きに対する不透明感など世界経済の下振れ懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は827億75百万円となり、前年同期に比べて127億77百万円の増収となりました。また、営業利益は97億15百万円と前年同期に比べて26億60百万円の増益、経常利益は108億7百万円と前年同期に比べて50億36百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は70億5百万円と前年同期に比べて31億43百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、国内タイヤメーカー各社の生産が低調で国内向け汎用品の販売数量は前年を下回りましたが、海外市況は好調で売上高、営業利益は前年同期を上回りました。

合成ラテックス関連では、手袋向けや樹脂改質向けが好調であったことなどから、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品関連では、国内・輸出・タイ子会社とも販売数量を伸ばしましたが、原料価格の上昇の影響を受けた為、全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて、75億86百万円増加し492億13百万円、営業利益は前年同期に比べて、8億75百万円増加し54億27百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学用途の販売が堅調に推移し数量・売上ともに前年を上回りました。高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムの販売が堅調に推移する一方、モバイル向け光学フィルムは好調で数量・売上ともに前年を上回りました。この結果、高機能樹脂および部材全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

情報材料関連では、トナー、電池材料および電子材料の売上高は前年同期を上回りました。この結果、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化学品関連では、特殊化学品、合成香料ともに販売が堅調に推移しましたが、海外における競争激化等の影響を受けたため、全体の売上高は前期を上回りましたが、営業利益は前期を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて、37億85百万円増加し212億7百万円、営業利益は前年同期に比べて、16億78百万円増加し41億38百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期に比べて、13億96百万円増加し128億64百万円、営業利益は前年同期に比べて、2億81百万円増加し8億81百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月28日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,677	14,941
受取手形及び売掛金	70,222	72,874
電子記録債権	2,782	2,927
商品及び製品	43,734	38,608
仕掛品	5,145	3,258
原材料及び貯蔵品	12,978	12,765
未収入金	29,328	22,286
繰延税金資産	3,799	3,679
その他	2,959	5,272
貸倒引当金	△91	△91
流動資産合計	182,533	176,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,667	44,475
機械装置及び運搬具(純額)	60,351	57,188
土地	18,698	18,320
建設仮勘定	8,046	8,811
その他(純額)	6,297	6,216
有形固定資産合計	138,058	135,010
無形固定資産		
その他	3,857	3,630
無形固定資産合計	3,857	3,630
投資その他の資産		
投資有価証券	76,828	81,849
繰延税金資産	273	263
その他	10,099	9,982
貸倒引当金	△233	△233
投資その他の資産合計	86,967	91,862
固定資産合計	228,883	230,502
資産合計	411,415	407,020

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,851	54,066
電子記録債務	2,834	2,673
短期借入金	18,037	17,866
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	5,018	3,416
賞与引当金	1,556	224
その他の引当金	2,238	2,681
その他	20,719	21,928
流動負債合計	114,253	112,854
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	5,140	4,323
繰延税金負債	8,776	10,063
退職給付に係る負債	12,760	11,662
その他の引当金	626	895
その他	5,225	5,088
固定負債合計	52,528	42,032
負債合計	166,781	154,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,128	19,128
利益剰余金	179,390	185,999
自己株式	△12,275	△12,275
株主資本合計	210,454	217,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,767	30,150
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	4,474	2,616
退職給付に係る調整累計額	△2,505	△2,402
その他の包括利益累計額合計	29,736	30,363
新株予約権	222	230
非支配株主持分	4,224	4,478
純資産合計	244,634	252,134
負債純資産合計	411,415	407,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	69,998	82,775
売上原価	49,191	58,337
売上総利益	20,807	24,438
販売費及び一般管理費	13,752	14,723
営業利益	7,054	9,715
営業外収益		
受取利息	29	25
受取配当金	424	692
為替差益	—	506
持分法による投資利益	—	68
雑収入	136	100
営業外収益合計	589	1,391
営業外費用		
支払利息	145	89
為替差損	1,583	—
休止固定資産減価償却費	66	140
雑損失	79	69
営業外費用合計	1,872	298
経常利益	5,771	10,807
特別利益		
受取補償金	357	—
抱合せ株式消滅差益	—	67
その他	3	—
特別利益合計	360	67
特別損失		
固定資産処分損	144	127
その他	13	1
特別損失合計	157	128
税金等調整前四半期純利益	5,974	10,747
法人税等	1,954	3,675
四半期純利益	4,020	7,071
非支配株主に帰属する四半期純利益	158	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,861	7,005

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	4,020	7,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,588	2,393
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△3,467	△1,877
退職給付に係る調整額	159	103
持分法適用会社に対する持分相当額	—	5
その他の包括利益合計	△10,898	623
四半期包括利益	△6,878	7,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,903	7,612
非支配株主に係る四半期包括利益	25	82

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)および流動負債(その他)として繰り延べております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,202	17,422	58,624	11,374	69,998	—	69,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	425	—	425	94	519	△519	—
計	41,627	17,422	59,049	11,468	70,517	△519	69,998
セグメント利益	4,552	2,460	7,012	600	7,613	△559	7,054

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△559百万円は、セグメント間取引消去△23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△535百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	48,773	21,207	69,980	12,795	82,775	—	82,775
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	440	—	440	69	509	△509	—
計	49,213	21,207	70,420	12,864	83,284	△509	82,775
セグメント利益	5,427	4,138	9,565	881	10,446	△732	9,715

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△732百万円は、セグメント間取引消去△14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△717百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。